



単位クラブへの聞き取り調査で 支援につなげる

高知県 本山町老人クラブ連合会
もとやまちょう

● クラブ数 9

● 会員数 321名（男性120名、女性201名）



高知県
本山町

町老連では、会員数の減少や活動の衰退、近年ではクラブの休止も相次ぎ、平成25年に14あったクラブが28年には9クラブにまで減少して、早急に対応が必要でした。

そのような中で、まずは各クラブの活動状況や困りごと、事務局に対する要望などを確認する機会を持ち、魅力あるクラブづくりについて共に考える時間を持つことにしました。それにより解散防止にもつながると考えました。それが町老連と事務局による単位老人クラブ聞き取り調査です。

全クラブを訪問する

28年度から全9クラブを回っています。調査の中では「地区が離れているので回覧を回すのが大変」「なかなか若い人に入会しても「ええない」などといった様々な悩みの声がかかります。その中で、事務局と共にサポートできることを考え、会員の負担軽減や単位クラブの活性化へ向けた取り組みを進めています。町老連として単位老人クラブを大切に、活動を支えていきたい」という姿勢を、

康づくりへの意識が高いようです。今後実施したいことは季節に合わせたお花見で、その送迎への協力依頼があり、できるだけの協力を約束して調査を終えました。

このような調査で得た情報の中で、各クラブの工夫（例えば「夫婦や家族で入ると会費がお得になるような仕組みづくり」）などは、他のクラブへも紹介できるので、各クラブ同士でも「どのような意見が出たのか」と気にし合っている状況が見受けられます。

グループ活動を開始

また、新たな試みとして、町老連でのグループ活動を始めました。昨年度からグラウンド・ゴルフグループを結成して、月に一度の練習会を行い、各大会へ参加しています。グラウンド・ゴルフがきっかけで老人クラブへ入会する人やメンバーに若手会員が多いことから、現会員が楽しめるだけでなく、新たな会員の獲得や若年層の会員に対するアプローチにもつながっているように感じます。すでに会員外の参加があり、会員以外の人も比較的参加しやすい活動であるといえます。

今年度は「居酒屋くらぶ」「ダンスクラブ」「旅行クラブ」などグループの種類を増やし



今日はグラウンド・ゴルフの練習日



聞き取り調査の一場面

各クラブに伝える貴重な機会でもあると考えます。聞き取り調査の一例を紹介します。

〈若宮会の場合〉

地区コミュニティセンターに、会長と活動主力メンバー4名が集まっていました。会員数33名、平均年齢83歳という高齢化が進んだクラブでしたが、週1回百歳体操を行い、健

て、様々な年齢層の人が楽しめるように、また新たな会員の獲得へ向けて計画中です。

昨29年度は、役員が休会クラブに働きかけて復活にこぎつけましたが、一つのクラブが休会してしまいました。また、会員が少しずつ増えているクラブもありますが、各クラブの会長による個人的な働きかけによる場合が多いのが現状です。

今後も聞き取り調査を継続して、会員のモチベーションにつながることや魅力のあるクラブづくりのために、共に考え、町老連・事務局としてできることを探っていきたいと考えています。

また、グループ活動の充実に加えて、さらに新しい事業も取り入れながら、現会員の方にも会員以外の方にとっても魅力的な老人クラブ活動となるような取り組みを進めていきたいと思えます。どうしたら魅力あるクラブづくり、魅力的な活動を行っていけるのか、役員だけでなく、会員一人ひとりに我が事として考えてもらえるような環境づくりを目指していきたいと思います。

（会長 前田恭男）

